

子どもの遊び場「うんぜん ほっと・フィールド(仮称)」整備基本計画・実施設計について【概要版】

1. 趣旨

移住・定住促進、子育て環境における課題として、全天候型の子どもの遊び場を求める声が多いこと等を踏まえ、他の施設との併用・連携を図った全天候型の子どもの遊び場の整備に向け、運営方法や機能等について、整理し取りまとめるもの。

2. 整備箇所

瑞穂町ヘルシー会館（みずほすこやかランド内）



3. コンセプトと基本方針

“学び”・“つながる”・“豊かな心”

①遊び・学びの拠点

- ・屋内の遊び場だけでなく、周辺の自然を感じられる屋外への誘導も意識した施設。
- ・周辺施設との連携を考慮した施設整備を行い、各施設間の相乗効果が高まる施設。
- ・施設周辺の自然を活用することにより、様々な遊び・学び・体験が行える施設。
- ・車で行きやすく、余裕のある駐車台数がある施設。

②交流の拠点

- ・子どもたちが遊びや体験を通して、他者と交流することで自立心やコミュニケーション能力を育むことができる施設。
- ・子どもだけでなく、子育て世代の親も交流できる機能なども含めた施設。
- ・多世代の人々が関わりあうことで、子どもの成長を育み、大人もほっとできる施設。
- ・天候に左右されず年間を通して利用可能な施設。

③安全を学ぶ施設

- ・安全を学び、子どもの成長を見守ることができる施設。
- ・子どもの発達、年齢などに応じて空間を配置した施設。

人と人とのコミュニケーションが生まれるよう、スタッフが子どもたちや保護者等とふれあうことにより、他者との交流が自然発生的に行われ、市民はもとより、立ち寄った市外の方にも幅広く再訪していただく施設を目指す。

⇒コミュニケーションを通じた遊び・学びを中心とした運営

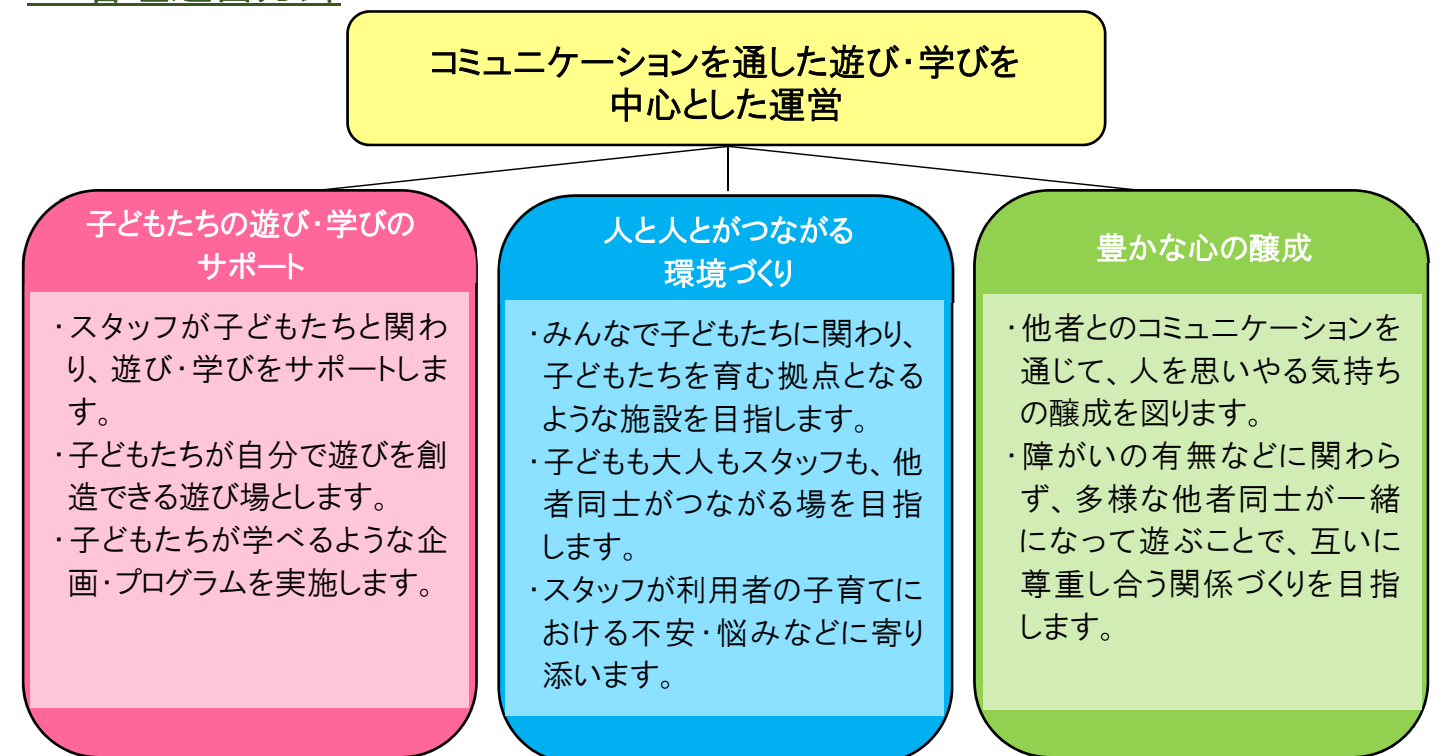
4. 利用料金

市民からの無料の希望が多いこと、県内の周辺類似施設が無料であることを踏まえ、**利用料金は無料**と設定。

5. 事業手法の検討

本施設においてはスタッフの役割が非常に重要であり、子どもたちの遊びの質に大きく影響すること、また、子どもの遊び場については本市において前例がなく、運営内容が十分に確立されていない状況の中での事業開始となることから、運営内容を確立するまでの当面の間は直営方式での事業運営とする。

6. 管理運営方針



7. 施設整備スケジュール(想定)



8. ソフト面(運営・連携等)の進捗状況

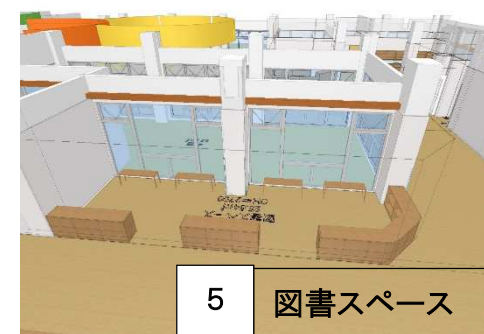
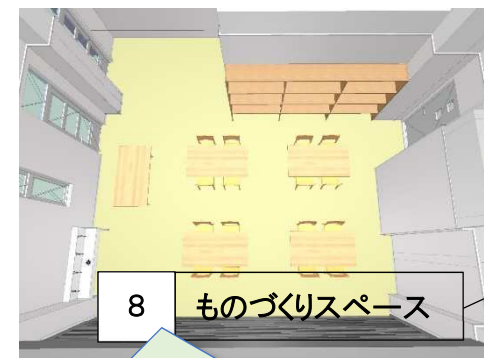
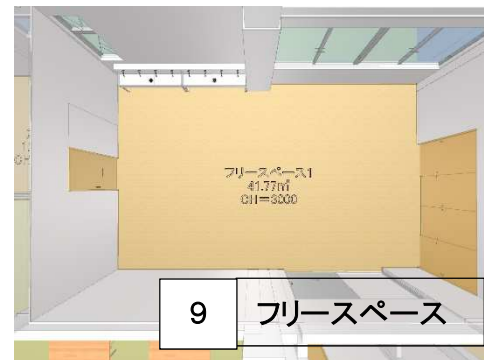
機運醸成に加えて、子どもの創造性や生きる力を育むための企画プログラムやイベントの実施に向け、市民や団体、包括連携協定を締結している団体等に対し、事業説明や連携協力をお願いを実施中。

【企画プログラムやイベントの例】

デジタル体験(ドローンプログラミング、3D プリンター体験など)、子ども向け教室、ベビーマッサージなど子育て教室、おしごと体験、ものづくりスペースでの工作教室

- ・移住定住、子育て施策にかかるオンライン相談の実施に向け調整中。

9. ゾーニング計画



2階は、既存の会議室や和室をフリースペース、研修室として活用します。

※参考、備品(机、椅子、遊具)はイメージです。

